

第17回河川整備計画策定専門家委員会における意見等について

【全般】

| 整理番号 | ご意見・ご提案（要旨） | 回答 |
|------|---|--|
| 1 | 洪水時の水位や、下水道から河川への流入量などは観測をして実際のデータを確認すべき。 | 河川の水位については、水位計による計測値を公表しています。 いただいたご意見は、今後の参考とさせていただきます。 |
| 2 | 行政が全てやるのではなく、民間企業による洪水予報システム等をうまく活用してはどうか。 | 河川工事において、上流側の水位や、民間の予測を活用して安全対策を講じている例があります。引き続き、そうしたシステム等を活用していきます。 |
| 3 | 行政が全てやるのではなく、民間企業による洪水予報システム等をうまく活用してはどうか。 | 最大級の地震が発生した場合においても津波等による浸水を防ぐために耐震対策を実施しています。なお、今回は地震の後の高潮に備えるため、対策範囲を拡大して実施しています。 |
| 4 | 民地を使わず、河川のみで治水対策を行うには、膨大な事業費が必要である。総合治水対策として、受益する方に一部を負担させるような取り組みはないか。 | 都の総合治水対策では、民地への雨水浸透貯留施設の設置を促す取り組みがなされています。 いただいたご意見は、今後の参考とさせていただきます。 |
| 5 | 内水被害を防ぐには、河川と下水道と連携が必要である。河道整備や調節池だけでなく、公園地下に浸透貯留施設等を整備するなど、面的な対策が必要である。下水道事業だが、河川事業側も促す取り組みをしていくべきである。 | 都では豪雨対策基本方針を定め、河川・下水道・流域対策について、都市整備局や下水道局と連携して進めています。 |
| 6 | 津波の想定高さは全河川一律で設定しているのか。沿岸部と各河川では異なるが、シミュレーションを実施しているか。 | 河川により異なります。東日本大震災後に、建設局・港湾局・下水道局の3局で開催した委員会においてシミュレーションを実施し、津波の高さを想定しています。 |
| 7 | 河川事業を進める上では、文化財だけでなく、近代土木遺産についても把握すべきである。 | いただいたご意見を踏まえ、河川整備を進める上で配慮します。 |
| 8 | 護岸整備やヘドロ対策等においては、新しい技術を積極的に導入すべきである。 | いただいたご意見は、今後の河川整備の参考とさせていただきます。 |

| | | |
|----|--|---|
| 9 | 洪水対策の目標水準が現在気候か将来気候かについては、わかりやすく表現すべきである。 | いただいたご意見を踏まえ、修正します。 |
| 10 | 河道拡幅により、憩いの場や生物の生息などの機能を持たせるといったポテンシャルがある。 洪水対策においては調節池の整備だけでなく、河道拡幅による整備など多面的に検討してほしい。 | 50mm/hまでは護岸整備等、それ以上の分は調節池整備と流域対策にて対応する方針で整備を進めています。 いただいたご意見は、今後の参考とさせていただきます。 |

【内川】

| 整理番号 | ご意見・ご提案（要旨） | 回答 |
|------|--|--|
| 1 | 植栽には外来種ではなく環境に配慮した在来種を用いるようにしてもらいたい。 | いただいたご意見を踏まえ、植栽においては地元関係機関と調整していきます。 |
| 2 | 「動植物に配慮した整備」「多様な生物の生息、生育環境に配慮した整備」とは具体的に何をするのか。 | 一部護岸において植生環境や魚類の生息に配慮したプランター、魚巢ブロック等を使用して整備を行っております。 |
| 3 | 「1時間あたり50mm」は現在気候で概ね何年に1度に相当するのか。 | 大手町観測所において年超過確率約 1/3.5 に相当します。 |
| 4 | 流域全体で概ね 50～100 年に 1 回程度の確率で発生する降雨とは現在気候を想定しているのか将来気候を想定しているのか。 | 内川河川整備基本方針において現在気候を想定しています。 |
| 5 | 環境に配慮した整備にあたり河床に植物を植えたりなどの自然調和型の整備も取り入れてもらいたい。 | いただいたご意見は、今後の河川整備の参考とさせていただきます。 |

【目黒川流域】

| 整理番号 | ご意見・ご提案（要旨） | 回答 |
|------|----------------------------|--------------------------|
| 1 | 目黒川の上流側の暗渠区間の調節池の整備状況の進捗は。 | 現在、検討中であり今後整備を行っていく予定です。 |

【渋谷川・古川】

| 整理番号 | ご意見・ご提案（要旨） | 回答 |
|------|---------------------------------------|--|
| 1 | 古川の臭いが気になるため、清流復活事業による導水など対策を検討すべき。 | 上流側の渋谷川で清流復活事業により下水道高度処理水を導水していますが、感潮域は流れが悪く臭いは課題となっています。いただいたご意見を踏まえ、引き続き対策に取り組めます。 |
| 2 | 金杉橋から下流の右岸側、JRの線路までが耐震対策区間ではない理由はなにか。 | 過年度に実施した耐震照査により、現況の防潮堤にて耐震性能を有するとの結果となったことから、耐震対策の計画対象区間外としています。 |

【石神井川上流地下調節池】

| 整理番号 | ご意見・ご提案（要旨） | 回答 |
|------|---|---|
| 1 | 河川の拡大とは、拡幅（幅を広げる）のことか。地下調節池による洪水容量の拡大、ということか。 | 河川の拡大は、「河道の拡幅」と「河道内の掘削」による河道の断面積を拡大するという意味です。 新たな地下調節池の整備による洪水容量の拡大は、調節池整備の15ミリに含まれます。 |
| 2 | 事業の優先順位はB/C、整備水準はB-Cで評価すべき。そのためB-Cも明記してほしい。 | 本事業のB-Cを算定した結果、277億円となりました。 |